

平成 15 年度試験研究成果

区分	普及	題名	肉量肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「平茂夏」の作出			
〔要約〕 本年度に産肉能力検定（間接法）を終了した種雄候補牛のうち、「平茂夏」が優れた成績であった。9月に県有種雄牛として選抜され、凍結精液の供給を開始した。						
キーワード	黒毛和種	間接法	種雄牛	畜産研究所種山畜産研究室		

1. 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進し黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

2. 成果の内容

産肉能力検定（直接法）で選抜された種雄候補牛の産子を同一環境下で肥育（間接法）を行った結果、「平茂夏」が DG1.11kg、ロース芯面積52cm²、脂肪交雑3.3と優れていたため、現場の肥育成績の判明を待たずに県有優良種雄牛として選抜し利用を促進する。

3. 成果活用上の留意事項

(1) 検定種雄牛の概要 (H11年度直接検定 DG 1.34)

登 録			血 統			
名 号	番 号(得点)	生年月日	父	母の父	母方祖母の父	産地
平 茂 夏	黒原3897(84.0)	H11.7.17	平茂勝	第5夏藤	紋次郎	西根町

(2) 検定期間および検定方法

検定期間：平成 14 年 8 月 23 日～ 15 年 8 月 22 日 364 日間

検定方法：去勢牛 8 頭を 1 群として肥育管理し、屠畜後全国和牛登録協会の検定員による産肉能力調査を実施した。

(3) 給与飼料

濃厚飼料：間接検定用飼料(DCP 10.0%、TDN 73.0%)を飽食給与

粗飼料：稲ワラ(切りワラ)を濃厚飼料に 10% 混入給与。禾本科乾草を飽食程度給与

(4) 交配上のポイントおよび留意事項

間接検定成績は DG が 1.11kg、枝肉重量 432kg と特に大きく、かつバラツキが少なく、脂肪交雑も 3.3 と肉量・肉質に優れた成績を示した。気高系の強い雌牛との交配ではやや脂肪交雑が低くなる傾向にあるが、田尻系および系桜系の雌牛との交配では枝肉重量・脂肪交雑に好成績が期待される。

4. 成果の活用方法等

(1) 適用地帯または対象者等

県下全域 肉用素牛生産農家

(2) 期待する活用効果等

黒毛和種の改良推進（繁殖雌牛の増体能力や体型の改良）

凍結精液供給本数 年間概ね 1,000 本程度

5. 当該事項に係る試験研究課題

(235) 黒毛和種産肉能力検定（間接法・現場後代検定）

6. 参考文献・資料

(1) (社)全国和牛登録協会

産肉能力小委員会資料 2003.9.

(2) (社)全国和牛登録協会

種雄牛の各種検定法について 2002.7

(3) (社)全国和牛登録協会

和牛種雄牛産肉能力検定成績 間接法

7. 試験成績の概要

「平茂夏」号 間接検定成績

調査年月日:平成15年8月27日

検定 番号	母の父	母方祖父	終了時体 重(kg)	DG (kg)	枝肉 重量 (kg)	ロース芯 面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪 厚(cm)	脂肪交雑 基準値	枝肉 格付
1	糸晴	安波	787.0	1.25	477	61	7.1	2.6	3	A5
2	寿高	裕徳	708.0	1.12	428	46	7.4	2.7	2	A3
3	美津福	寿高	677.0	1.09	411	54	6.8	2.3	3	A5
4	寿高	安美金	681.0	0.98	408	44	5.7	1.9	2	A4
5	北国7-8	安福	736.0	1.20	458	56	8.1	2.8	4	A5
6	美津福	第5夏藤	675.0	1.02	405	49	6.5	1.7	4	A5
7	乙次郎	大照	736.0	1.16	434	50	7.2	2.3	3	A5
8	安福栄	紋次郎	717.0	1.08	433	55	6.6	1.7	5	A5
平均			714.6	1.11	432	52	6.9	2.3	3.3	

全 国 平 均	終了時 体 重 (kg)	D G (kg)	枝 肉 重 量 (kg)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚 さ (cm)	皮 下 脂肪厚 (cm)	脂 肪 交 雑
H14.4.1 ~ H14.7.31開始分 16セット(128頭)の平均	612.6 ±63.0	0.95 ±0.14	368 ±40	47 ±5	6.6 ±0.8	2.1 ±0.6	3.1 ±0.9
H10~H13年度開始分 269セットの平均	599.1	0.94	359	48	6.4	2.1	2.7